

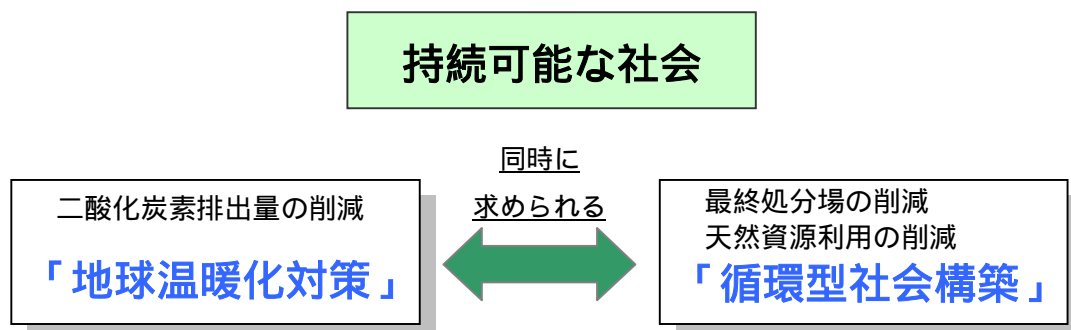
# 改良土を使って 地球温暖化を防止しよう！

- 残土埋立処分をやめ、改良土を製造すれば 37.40 kg/ t のCO<sub>2</sub>が削減できる -

ここに記載される全ての計算根拠は(独)国立環境研究所 富山県環境科学センター ERTRP ver.1.0に基づくものです

人間活動によって地球温暖化を引き起こしている可能性が高い現在、一人一人の取り組みだけでなく、環境への負荷の少ない、持続的に発展することができる社会の構築を目指した総合的かつ計画的な取り組みを行う必要があります。

例えば道路工事等で発生する建設発生土の処分については、CO<sub>2</sub>削減による「地球温暖化対策」と最終処分場の削減、天然資源利用量の削減に伴う「循環型社会構築」が同時に求められます。



建設発生土を埋立処分場へ年間 20,000 台、輸送した場合

輸送方法	原単位 [ kg -Co2/km ]	輸送距離 [ km ]	1台あたりCO <sub>2</sub> 排出 [ kg/台 ]	年間 CO <sub>2</sub> 排出 [ t/年 ]
10 t トラック	0.742	50	37.1	<b>742</b>

その他にも...

埋め立て作業で排出されるCO<sub>2</sub>が年間 6,000 t

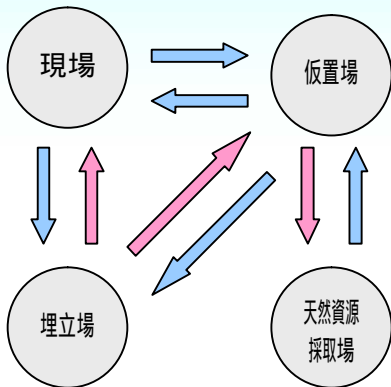
埋戻しに使われる砕石の製造、輸送で排出されるCO<sub>2</sub>が年間 600t 排出されます



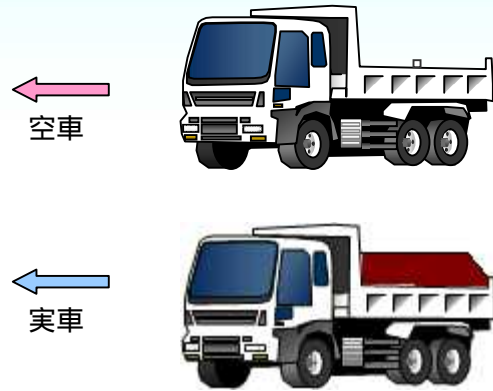
ちなみに、家庭から排出されるCO<sub>2</sub>の1人あたり年間排出量は9.5 tとされています

建設発生土の改良土リサイクルが

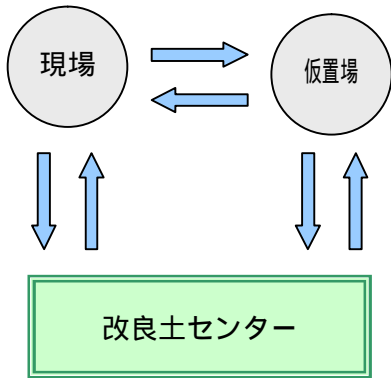
# 「地球温暖化対策」「循環型社会構築」を可能にします



[従来の天然資源を利用した土砂入替工法]



空車車両をなくすことによるCO<sub>2</sub>の削減  
地球温暖化対策



[建設発生土の改良土リサイクルシステム]



埋立処分、天然資源採取の削減  
循環型社会の構築

建設発生土を改良土にリサイクルすることで得られるCO<sub>2</sub>削減効果

[製品を1t製造、または処分する際に発生するCO<sub>2</sub>量]

CO <sub>2</sub> 排出項目	改良土	通常製品 (山砂など)
原料製造	0.19kg	0.00kg
原料輸送	1.29kg	0.00kg
製品製造	2.87kg	3.00kg
循環資源埋立	0.00kg	33.55kg
処分場への輸送	0.00kg	2.20kg
天然資源削減	-3.00kg	0.00kg
合計	1.35kg	38.75kg

二酸化炭素の削減量 37.40kg/

